

## おかやまNPOサポート基金 評価基準

社会的 ポジ ション	公共性	広く社会に貢献できる活動を行っているかどうか
	先駆性	時代に先駆けた活動を行っているかどうか
	必要性	団体の活動は社会ニーズに応えているかどうか
	波及性	団体の活動が今後外部に広がっていく可能性があるかどうか
	地域性	地域貢献しているかどうか
状況	人的資源	理事のほか、ボランティアなどや事務局や活動を支える人材がそろっていて、関係者の責務・役割分担が明確であるかどうか
	事務局体制	事務局体制が確立されており、専用の事務所があつて、専任スタッフがいるかどうか
	意志決定状況	理事会や役員会などが定期で開かれており、関係者全員の意思統一は行われているかどうか
	財政状況	資金の収支も含め、財政処理がきちんとできているかどうか。また翌年度予算など先の見通しが立つだけの収入の継続性があるかどうか
	資金獲得状況	事業を行うだけの資金獲得力があるか、また多様な財源の獲得に努力をしているかどうか
事業 状況	ミッション性	団体のミッションが明確になっていて、関係者が理解し、行っている事業がミッションを実現するためのものであるかどうか
	事業計画性	事業の目的を明確に示して、事業を着実に実行していける計画性を持っているかどうか。収支計画が立てられているかどうか
	継続性	事業が一時的なものでなく、継続的なものであるかどうか、また継続されて実施できる体制にあるかどうか
	費用対効果	活動に必要な費用に対して、その効果があがっているかどうか
	事業評価	受益者の満足度を把握する努力をしているかどうか、また組織として事業評価を重視しているかどうか
情報 公開 ・ 協働	ミッションパンフ	団体のミッションを示すパンフレットなどを整備しているかどうか
	機関紙、メールマガジン	機関紙やメールマガジンが、定期で発行されているかどうか
	ホームページ	会員外への情報公開の手段として、ホームページを開設し、定期的な更新がなされているかどうか
	公開性	ホームページ等で、役員名簿、事業報告書、決算書等が公開されているかどうか
	協働性	他団体と協力して、NPO社会実現のため努力しているかどうか